

## ブルム社製タンデムボックス ブルモーション内蔵 取扱注意事項

この取扱注意事項には、ブルム社製タンデムボックス ブルモーション引出（以下タンデムボックス ブルモーションと表記）をご使用いただく際にお守りにならないと人身事故や家財の損害に結びつくものをまとめて記載しております。

安全に関する重要な内容ですので必ず守っていただき、必ずエンドユーザーの方にも表示・警告して下さい。

なお、この取扱注意事項によらないご使用の場合は弊社の品質保証の対象外となります。また、この内容が表示・警告されなかったことで発生した損害につきましては責任を負いかねます。

### 1. キッチンの設計上の注意事項

1. タンデムボックス ブルモーションは引出（内容物を含む）の重量や引出に上部から力が加わることによって下がりが発生します。（別添テストレポート参照）またこの下がり量は引出（内容物を含む）の重さ、上部から加わる力によって変化しますので、一概に決まった安全寸法はありません。特にケコミ収納として設計するときは、床面との間に引出の間口と大きさ、引出に加えられると予測される力に応じて十分なクリアランスをとって下さい。前板や引出が下がって床を傷つけることがあります。また、万一引出が下がり床に当たっても床に傷が付かない仕様としてください。引出の下がりによる床面の損傷等については責任を負いません。

タンデムボックス ブルモーションの動荷重は引出本体を含み 30kg(578)、50kg(579)、65kg(576)です。（側板レール、底板、前板、背板を含む）これ以上の荷重がかからないよう取扱説明書などに明記してください。但し、前板のサイズ・重量が極端に大きいときは、動荷重に満たない条件でも偏荷重の影響を受けて、引き込まない場合があります。前板のサイズ・重量が大きい場合は 578(30kg) → 579(50kg)、579(50kg) → 576(65kg) へ1ランクアップさせると、引込力がより強くなりますので解決場合があります。また背板がB高さの場合、D高さに変更すると引出後部に比重を持たせることで解決する場合があります。「収納物は偏りが無いよう均等に入れる」等の注意書きを取扱説明書などに明記願います。

2. タンデムボックス ブルモーション 578（荷重 30kg）の対応できる、引出の総重量は引出本体（側板レール、底板、前板、背板を含む）を含み 30kg までです。（579（荷重 50kg）の場合は 50kg）これ以上の荷重がかからないよう取扱説明書などに明記してください。特に間口 900mm以上の引出では前板の大きさによっては、約 50kg 程度の内容物を収納されてしまうおそれがありますので、特に注意して取扱説明書などに明記、警告してください。

3. 加工寸法及び取付方法については、カタログ及び取扱説明書を参照して下さい。

4. 引出は全開します。隣や対面するキャビネットや壁などに引出が接触しないような設

計及びレイアウトとしてください。

5. 底板、背板、前板の切断寸法はカタログ及び取扱説明書を参照して正確な寸法としてください。底板、背板の厚みは 16mm としてください。
6. 受レールのネジは 4 × 15mm 以上の木ネジか φ 6mm のシステムネジをご使用下さい。木ネジの下穴をあける場合の穴径は 3 mm 以下で深さは 2mm にとどめて下さい。システムネジの下穴は φ 5 ± 0.1mm にしてください。大きな下穴はネジの保持力が弱くなりゆるみの原因となります。
7. 578 受レールのネジ穴は左右それぞれレールの手前のネジ穴 2ヶ所、後ろのネジ穴 2ヶ所、計 4ヶ所を止めてください。579 と 576 受レールは左右それぞれ 5ヶ所以上止めて下さい（別紙「受レールネジ止め位置」に従って、不足のないようにしてください）。
8. 側部は底板の下から 3.5 × 15mm 以上の木ネジですべてのネジ穴を止めてください。背板は木製背板取付具に 3.5 × 16mm 以上の木ネジですべてのネジ穴を止めて下さい。
9. 前板取付具木ネジ用 ZSF35A2 は φ 3.5 × 20mm の木ネジで上下を止めてください。前板取付具打込式 ZSF36A2 は φ 10mm ± 0.1mm の下穴 2ヶをあけて打込んで下さい。インサータ式前板取付具 ZSF39A2 は φ 10mm ±  $\begin{smallmatrix} 0.2 \\ 0.1 \end{smallmatrix}$  mm ・深さ 12mm の下穴 2ヶをあけて奥まで差し込んでから取り付けてください。
10. ガラリパイプを取り付ける場合は前板側の正確な位置に φ 10mm ±  $\begin{smallmatrix} 0.2 \\ 0.1 \end{smallmatrix}$  mm ・深さ 12mm 以上の穴をあけてください。
11. ご使用の前提となる場所はキッチンなどの室内です。戸外や浴室では使用できません。
12. 引出が全開されたときにキャビネットがバランスをくずし倒れる可能性があります。施工時には、必ずキャビネットを固定するなどの対策を施してください。
13. 建築物の引渡し前にホルムアルデヒドや閉鎖空間での湿気等の特別の原因で発生した錆につきましては、責任を負いません。
14. キッチンでの使用上の注意にもかかわらず、調味料や洗剤等が表面に付着したままになっていた事により発生したと推定される錆については責任を負いません。

## 2. 取り付け上の注意事項

1. キャビネット側レールは側板の先端からカタログ及び取扱説明書の指示どおりに取り付けてください。
2. 底板、背板、前板の切断寸法はカタログ及び取扱説明書を参照して正確な寸法を出してください。
3. 底板、背板の厚みは 16mm としてください。
4. キャビネット側レールのネジは 4 × 15mm 以上の木ネジか φ 6mm のシステムネジをご使用下さい。木ネジの下穴をあける場合の穴径は 3 mm 以下で深さは 2mm にとど

めて下さい。システムネジの下穴は $\phi 5 \pm 0.1\text{mm}$ にしてください。大きな下穴はネジの保持力が弱くなりゆるみの原因となります。

5. キャビネット側レールのネジ穴は左右それぞれレールの手前のネジ穴2ヶ所、後ろのネジ穴2ヶ所の4ヶ所を止めてください(578 受レール 30kg の場合)。579 50kg と 576 65kg は別紙「受レールネジ止め位置」に従って、不足のないようにネジ止めしてください。
6. キャビネット側レールは天板及び地板に平行になるように取り付け、施工後に床面に対し水平レベルが出ていることを確認してください。
7. 側部は底板の下から  $3.5 \times 15\text{mm}$  以上の木ネジですべてのネジ穴を止めてください。この際、底板と側部の間に隙間が発生しないように、ブルム社製引出組立治具ボックスフィックス等を使用し、両側から押さえつけるようにしてビス止めして下さい。ビス止め後に隙間が発生していないか確認して下さい。
8. 背板は木製背板取付具に  $3.5 \times 16\text{mm}$  以上の木ネジですべてのネジ穴を止めて下さい。この際、背板と木製背板取付具の間に隙間が発生しないように、ブルム社製引出組立治具ボックスフィックス等を使用し、両側から押さえつけるようにしてビス止めして下さい。ビス止め後に隙間が発生していないか確認して下さい。
9. 前板取付具木ネジ用 ZSF35A2 は  $\phi 3.5 \times 20\text{mm}$  の木ネジで上下を止めてください。
10. 前板取付具打込式 ZSF36A2 は  $\phi 10\text{mm} \pm 0.1\text{mm}$  の下穴2ヶをあけて打込んで下さい。インサータ式前板取付具 ZSF39A2 は  $\phi 10\text{mm} \pm \begin{smallmatrix} 0.2 \\ 0.1 \end{smallmatrix} \text{mm}$  ・深さ 12mm の下穴2ヶをあけて奥まで差し込んでから取り付けてください。
11. 前板の取付は、前板取付具を引出側部の連結部に当て、押しこむとバチンという音がして取り付けられます。音がしない場合は再度やりなおして下さい。この際前板と引出の間に指などを挟まないように気を付けてください。けがをするおそれがあります。
12. ギャラリーパイプを取り付ける場合は前板側の正確な位置に  $\phi 10\text{mm} \pm \begin{smallmatrix} 0.2 \\ 0.1 \end{smallmatrix} \text{mm}$  ・深さ 12mm 以上の穴をあけてください。ギャラリーの後部についている取付部を木製背板取付具(またはスチール背板)の連結部にしっかり差し込んでください。そして、正確に取り付けられているか手で引っ張って確認して下さい。木製背板取付具(またはスチール背板)は側部にしっかり差し込んでください。そして、正確に取り付けられているか確認して下さい。
13. ギャラリー付の引出を持ち上げる時はギャラリーパイプを持たずに引出部をしっかり保持してください。ギャラリーパイプを持つとギャラリーパイプが引出から外れ引出が落ち、ケガをすることがあります。
14. 引出をキャビネットに取り付けた後は必ず何度か開閉してみて正確に取り付けられているか、がたつきが無い、異音がないか確認して下さい。正確に取り付けられていないと使用中に引出が外れケガをするおそれがあります。
15. タンデムボックス ブルモーションには引出ダンパー装置が内蔵されておりますが、

引出の重さやスピード・レールの長さにより効果は異なります。引出を閉める際には、指などを挟まないように注意して下さい。

16. タンデムボックス ブルモーションは引出（内容物を含む）の重量や引出に上部から力が加わることによって下がりが発生します。（別添テストレポート参照）またこの下がり量は引出（内容物を含む）の重さ、上部から加わる力によって変化しますので、一概に決まった安全寸法はありません。特にケコミ収納用引出については、施工後に、床面との間に引出の間口と大きさ、引出に加えられると予測される力に応じた十分なクリアランスが取られているか確認して下さい。前板や引出が下がって床を傷つけることがあります。また、万一引出が下がり床に当たっても床に傷が付かない仕様としてください。引出の下がりによる床面の損傷等については責任を負いません。
17. 脇カバーを外すときは、指を傷つけないように注意して下さい。
18. 取り付けの際使用する木ネジは必ず木部の強度にあったトルクで締めてください。トルクが強すぎたり、廻し過ぎるとネジの保持力が低下し引出や前板が落下し事故の原因となります。各取り付けねじの外れによる事故については保証の範囲外です。
19. 木部は必ず十分な引き抜き強度のあるものを使用して下さい。
20. 引出が全開されたときにキャビネットがバランスをくずし倒れる可能性があります。施工時には、必ずキャビネットを固定するなどの対策を施してください。
21. 建築物の引渡し前にホルムアルデヒドや閉鎖空間での湿気等の特別の原因で発生した錆につきましては、責任を負いません。
22. 引出を組み立てたり、キャビネットに取り付けたり取り外したりする際に、引出や工具でけがをする恐れがあります。十分に注意して下さい。
23. 施工の際に引出を取り外した際には、キャビネット側レールをキャビネット内に収納して下さい。また、キャビネット内に入り込んで作業する際には引出部品等でケガをしないように十分に注意して下さい。

### 3.エンドユーザーの方への取扱注意事項

#### 1. 警告

タンデムボックス ブルモーションの動荷重は引出本体を含み 30kg（50kg タイプの場合は 50kg）です。（側板レール、底板、前板、背板を含む）

これ以上の荷重がかからないよう取扱説明書などに明示してください。引出が外れケガをしたり、スムーズに開閉しなかったり、引出が下がって床などを傷つけるおそれがあります。

#### 2. 警告

タンデムボックス ブルモーションには引出ダンパー装置が内蔵されておりますが、引出の重さやスピード・レールの長さにより効果は異なります。引出を閉める際には、指などを挟まないように注意して下さい。

#### 3. 警告

引出の上に乗らないで下さい。引出が外れケガをしたり、引出が下がって床などを傷

つけるおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。

#### 4. 警告

引出に寄りかかったり、ぶら下がったり、体重をかけたりしないで下さい。引出が外れケガをしたり、引出が下がって床などを傷つけるおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。

#### 5. 警告

引出の収納物は、レールのスムーズな走行のためになるべく荷重が均等になるように入れてください。開いた引出の上で調理しないで下さい。引出が破損したり、引出が動いてケガをするおそれがあります。

#### 6. 警告

引出を開いたままで作業しないで下さい。引出に当たり転倒したり、引出に当たってケガをしたり、引出が破損して落下するおそれがあります。特にお子様にはご注意ください。

#### 7. 警告

開いた引出の下に入りこまないで下さい。特にお子様が開いた引出の下で遊ばないようにご注意ください。引出に頭をぶついたり、引出にはさまれたり、万一引出が外れた場合にケガをする恐れがあります。

#### 8. 警告

引出の前板が傾いたり、ガタついているときは脇カバーを外し、前板調整ネジをきつく締めなおして下さい。このネジが緩むと引出の前板が落ちてケガをする恐れがあります。また、脇カバーを外すときには指を傷つけないよう注意して下さい。

#### 9. 警告

長年の使用で引出がガタついている時は、引出を取外し受レールの取り付けネジを締めなおして下さい。引出が落ちてケガをしたり、床を傷つけることがあります。引出を取り外すときは、引出を落とさないようしっかりと引出側部を保持して下さい。この際ギャラリパイプ付引出の場合は、ギャラリパイプ部分は持たないで下さい。外れて引出を落としてケガをする可能性があります。また、引出をキャビネットに取り付けた後は必ず何度か開閉してみて正確に取り付けられているか、がたつきが無いのか、異音がないか確認して下さい。正確に取り付けられていないと使用中に引出が外れケガをする恐れがあります。

#### 10. 警告

引出は必ず扉の取っ手部を持ってやさしく開閉して下さい。引出の下部を持って開閉すると、引出に指などを挟みケガをする事があります。

#### 11. 警告

引出を開閉するときには、引出の下に人がいないことを確認し引出に指等をはさまないように気をつけて下さい。また、ケコミ部分の引出を開閉する際には、足などを引出と床の間に挟まないよう注意して下さい。引出にはさまれてケガをするおそれがあります。

#### 12. 警告

引出は全開します。隣や対面するキャビネットや壁、人体などに当てないように気を付けてください。扉や取っ手等に傷が付いたりケガをすることがあります。

**13. 警告**

引出は全開したら、それ以上は無理に引き出さないで下さい。引出が外れたり破損するおそれがあります。

**14. 警告**

引出は全開しますので引出を開く時には転倒しないよう体のバランスを保つようにしてください。

**15. 警告**

引出に衝撃を与えないで下さい。引出が破損して落下してケガをしたり、引出に傷が付いたり変形するおそれがあります。

**16. 警告**

引出を分解したり改造しないでください。引出が外れてケガをするおそれがあります。

**17. 警告**

一度に2つ以上の引出を開いたままにしないでください。キャビネットが引出の内容物の重量で傾いて倒れるおそれがあります。

**18. 警告**

引出を、調整したりキャビネットに取り付けたり取り外したりする際に、引出や工具でけがする恐れがあります。十分に注意して下さい。

**19. 警告**

引出を取り外した際には、キャビネット側レールをキャビネット内に収納して下さい。また、キャビネット内に入り込んで作業する際には引出部品等でケガをしないように十分に注意して下さい。

**20. 注意**

使用の前提となる場所はキッチンなどの室内です。戸外や浴室では使用できません。

**21. 注意**

引出側部にテープなどを貼らないで下さい。表面が変質するおそれがあります。

**22. 注意**

引出の上に水や食品、調味料等をこぼさないで下さい。万が一こぼした場合はすぐに乾いた布できれいにふき取ってください。光沢がなくなったり、表面を痛めます。キッチンでの使用上の注意にもかかわらず、調味料や洗剤等が表面に付着したままになっていた事により発生したと推定される錆については責任を負いません。

**23. 注意**

引出は常にきれいにしておいて下さい。

**24. 注意**

お手入れの際は柔らかい布でからぶきして下さい。タワシなどは使用しないで下さい。洗剤、ワックス、漂白剤、硫酸、塩酸等の酸類、シンナー、アルコール、アセ

トン、ペイント除去剤などの溶剤、アルカリ類は絶対に使用しないで下さい。変色や錆の発生、光沢がなくなる等のおそれがあります。

**25. 注意**

市販のシンクのゴミカゴ用ヌメリ取り剤は塩素ガスを発生させ引出が錆びる場合があります。使用しないで下さい。